

韓国における原木利用量と木製品生産量（続き）

3. 木製品生産量

続いている景気不況による国内建築着工面積の減少に伴って建設・建築資材として用いられている製材品、合板・ボード類、木質床材などの生産量は減少を示した。これに対して集成材、木材ペレット、木材チップなどの生産は増加を示した。集成材は最近公共建築物に対する木材利用の需要増加、木材ペレットや木材チップは発電用燃料への需要増加が生産量の増加の主な原因であろう。

表-6. 木製品生産量の推移

区分	単位	2020	2021	2022	2023	前年対比 増加率（%）
製材品	m <sup>3</sup>	1,899,723	1,949,797	1,772,500	1,917,265	-2.8
化粧用	m <sup>3</sup>	362,079	349,220	368,809	321,366	-12.9
構造用	m <sup>3</sup>	335,200	364,663	372,671	259,622	-30.0
一般製材用	m <sup>3</sup>	1,202,444	1,235,914	1,231,020	1,336,278	8.6
合板・ボード類	m <sup>3</sup>	2,640,635	2,740,085	2,523,738	2,091,635	-17.1
合板	m <sup>3</sup>	231,212	273,516	268,266	176,100	-34.4
MDF	m <sup>3</sup>	1,643,260	1,677,965	1,470,259	1,318,106	-10.3
PB	m <sup>3</sup>	766,163	788,604	785,213	597,429	-23.9
木質床材	m <sup>3</sup>	212,096	192,440	247,919	232,482	-6.2
合板床材	m <sup>3</sup>	69,835	32,312	83,807	85,001	1.4
強化床材	m <sup>3</sup>	23,698	23,018	38,291	24,111	-37.0
その他	m <sup>3</sup>	118,563	137,110	125,821	123,370	-1.9
防腐木材	m <sup>3</sup>	29,323	55,859	11,877	7,324	-38.3
難燃木材	m <sup>3</sup>	134	130	217	127	-41.5
木材プラスチック複合材	m <sup>3</sup>	9,436	10,131	20,039	12,957	-36.3
集成材	m <sup>3</sup>	2,593	2,143	7,417	8,733	17.7
木材チップ	ton	1,874,392	1,584,610	796,271	1,010,635	26.9
パルプ用チップ	ton	715,355	501,572	294,075	310,845	5.7
ボード類用チップ	ton	230,868	323,091	21,090	24,090	14.2
燃料用チップ	ton	928,169	698,751	481,106	675,700	40.4
その他	ton	-	61,196	-	-	-
木材ペレット	ton	354,594	694,090	719,685	886,214	23.1
成形炭	ton	6,874	5,692	8,900	3,250	-63.5
炭	ton	8,047	9,748	4,766	4,967	4.2
木酢液	kl	688	464	312	448	43.6
木屑・木粉	ton	133,838	217,188	291,164	290,577	-0.2
薪	m <sup>3</sup>	498,737	292,136	727,437	757,164	4.1
パルプ	ton	-	493,592	515,000	524,000	1.7

製材品の生産量を具体的に見うると、総生産量（2023年基準）は前年対比（1,972,500m<sup>3</sup>）に2.8%減少

した1,917,265㎥を示した。用途別には一般用材が1,336,277㎥（69.7％）と最も多く、次いでインテリア用に使用されている化粧用材が321,366㎥（16.8％）、構造用材が259,622㎥（13.5％）を示した。同対比にパレット用・包装輸出ケースに使用されている一般用材が他用途に比べて大きな増加を示した。そして具体的な製材品の用途を見ると仮設材用が600,237㎥（31.3％）と依然として最も多く、次いでパレット用が481,142㎥（25.1％）建築構造材が259,622㎥（13.5％）、建築内装材が254,546㎥（13.3％）、デッキ用・原木床材用が110,581㎥（5.8％）などを示した。

表-7. 製材品の生産量

(単位：㎡、％)						
区分		2020	2021	2022	2023	前年対比 増加率
合計		1,899,723	1,949,797	1,972,500	1,917,265	-2.8
構造用材	建築構造材	335,200	364,663	372,671	259,622	-30.3
化粧用材	建築内装材	316,540	327,434	332,588	254,546	-23.5
	家具用	45,539	21,786	36,221	66,820	84.5
一般用材	仮設材	681,476	549,251	570,418	600,237	5.2
	パレット用	322,639	308,332	390,724	481,142	23.1
	デッキ用・原木床材用	86,436	64,648	137,611	110,581	-19.6
	木工産業用	929	949	1,044	2,936	181.2
	その他	110,964	312,734	131,224	141,382	7.7

合板の生産量を具体的に見ると、2023年基準総生産量は前年対比（268,266㎥）に34.4％減少した176,100㎥を示した。用途別にみると、仮設材用が147,700㎥（83.9％）と圧倒的に多く、次いで建築内装材が15,000㎥（8.5％）、床材用が11,000㎥（6.2％）などを示した。

表-8. 合板の生産量

(単位：㎥、％)					
区分	2020	2021	2022	2023	前年対比 増加率
合計	231,212	273,516	268,266	176,100	-34.3
仮設材用	147,969	154,231	221,757	147,700	-33.4
建築内装材	49,359	51,604	27,209	15,000	-44.9
包装用	3,800	3,762	-	-	-
家具用	3,800	3,762	-	-	-
床材用	11,284	44,383	8,423	11,000	-30.6
その他	15,000	15,774	10,876	2,400	-77.6

MDFの生産量を具体的に見ると、総生産量（2023年基準）は前年対比（1,470,259㎥）に10.3％減少した1,318,106㎥を示した。MDFは主に家具用として最も多く使用されているが最近新規住宅建築の減少とMDFがPBへ代替することによって生産量が減少している。用途別にみると、家具用が546,994㎥（41.5％）と依然として最も多く、次いで建築内装材が492,729㎥（37.4％）、床材用が233,958㎥（17.7％）、包装用が44,424㎥（3.4％）などを示した。前年対比に包装用は他用途に比べて減少の幅が大きい。

表-9. MDFの生産量

(単位：m³、%)					
区分	2020	2021	2022	2023	前年対比 増加率
合計	1,643,260	1,677,965	1,470,259	1,318,106	-10.3
建築内装材	701,366	728,346	573,940	492,729	-14.1
包装材	16,600	15,500	65,894	44,424	-32.6
家具用	815,359	816,024	588,501	546,994	-7.1
床材用	109,935	118,095	241,923	233,958	-3.3

PBの生産量を具体的に見ると、総生産量（2023年基準）は前年対比（785,213m³）に23.9%減少した597,429m³を示した。用途別にはMDFと比較すると建築内装材用向けはゼロで全量が家具用向けてある。家具用はキッチン家具が298,714m³（50.0%）と最も多く、次いで一般家具が193,721m³（32.4%）、事務用家具が104,994m³（17.6%）などを示した。

表-10. PBの生産量

(単位：m³、%)					
区分	2020	2021	2022	2023	前年対比 増加率
合計	766,163	788,604	785,213	597,429	-23.9
家具用	737,207	760,781	785,213	597,429	-23.9
キッチン家具	322,066	384,383	271,312	298,714	10.1
一般家具	325,731	288,997	418,538	193,721	-53.7
事務用家具	89,410	87,401	95,363	104,994	10.1
包装用	28,956	27,823	-	-	-

木材チップの総生産量は前年対比（796,271m³）に26.9%増加して1,010,635m³を示した。生産量の増加は林地残材の木質バイオマスへの利用増加が主な原因である。用途別に見ると燃料用が675,700m³（66.9%）と最も多く、次いでパルプ製造用が310,845m³（30.8%）、ボード製造用が24,090m³（2.4%）などを示した。

表-8. 木材チップの生産量

(単位：m³、%)					
区分	2020	2021	2022	2023	前年対比 増加率
合計	1,874,392	1,584,610	796,271	1,010,635	26.9
パルプ製造用	715,355	501,572	294,075	310,845	5.7
ボード製造用	230,868	323,091	21,090	24,090	14.2
燃料用	928,169	698,751	481,106	675,700	40.4
その他	-	61,196	-	-	-

資料：山林庁（2024年11月）、2023年基準の木材利用実態調査報告書